

## けやきセミナー teacher's 版 No.2

### ○ ユニバーサルデザインって？

「可能な限り最大限に使いやすい製品や環境のデザインのこと」だそうです。子供や力の弱いお年寄り、その他すべての人々にとって使いやすいよう設計されたもの、具体的には、お金の投入口が低い自動販売機、幅の広い改札、スロープ、ピクトグラム（標識）、シャワートイレ、ポンプ式シャンプーとリンス、ノンステップバスなどです。確かにシャンプーがわからず以前はリンスを間違えて使ってしまうことが度々ありましたが、今ではポンプの上にポチがあるので間違えることがありません。



### ○ 今治タオルをご存じですか？

世界で注目されているさわりごちの良き今治タオルって、目に障害のある方々の触感により開発されたことをご存じでしたか？

鍼灸の分野でも、その特異性を発揮しているかと思います。障害者だからこそ培われた健常者にはない能力や感性により、よりよい物が作りだされていることも少なくありません。

障害者のもつプラスの財をものづくりに反映させる。そのためにも、障害者を排除せず一緒に暮らしていく社会、共生社会を実現させていく必要があります。



### ○ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりとは・・・

教えることが、「カン」や「こつ」といった技能ではなく、客観的で普遍的な「教授学」に基づいていることはわかっているけども、ユニバーサルデザインの視点を取り入れるって？一体どうしたらよいの？と悩んでいる先生方も多いと思います。

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりとは、「可能な限り最大限に障害等のある生徒にもできるだけわかりやすくした授業づくり」だと思います。

例えば、発達障害傾向の生徒は、視覚的に見通しを持たせると授業に対する不安が軽減すると言われていています。そこで、黒板に、本日の授業の流れを書きおくのもユニバーサルデザインの視点を取りいれている授業づくりと言えます。

板書もしかりで、書字にかかる時間も多様です。私は、書字は早いのですが、字を崩して書くので、生徒から不評でした。書字の遅い生徒のために、黒板を三分割して、授業中は絶対に途中で消さない、そして、書字の遅い生徒には、授業の最後に写メをとらせていました。

わかりやすい参考書です！「授業のユニバーサルデザイン入門」（東洋館出版社）小貫悟著書

令和2年度キーワード…「組織化」「共有・協働」「探究」「ユニバーサルデザイン」「チャレンジ」

CHALLENGE…各自の目標を見つけ、それに向かって自らの能力や適性を伸ばし、挑戦し続ける

INDEPENDENCE…民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人物を育てる

GLOBAL…国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国の文化や習慣を理解できる人間に育てる